

数専会だより

発行人
東京女子大学
同窓会数専会
会長 多羅尾千恵
〒167-0041
東京都杉並区善福寺
2-23-11
Tel. 03-3395-4448
Fax 03-3395-0084
http://www.geocities.jp/
twcumath/index.html

【総会報告】

日時 平成二〇年五月三十一日(土)
於 七二年館二階

次第

一部 総会議事

- 一、活動報告
- 二、二〇〇七年度 決算報告
- 三、会計監査報告
- 四、二〇〇八年度 予算案
- 五、夏季研修会について
- 六、研究部講座報告
- 七、常任幹事交代について
- 八、その他

二部 パズルを使って脳のトレーニング

一部 総会議事

- 一、活動報告 (5ページ参照)
- 各部報告 (7ページ参照)
- 二、決算報告 (6ページ参照)
- 三、会計監査報告 (7ページ参照)
- 四、予算案 (6ページ参照)
- 五、夏季研修会について
今年度は東京女子大学9号館にて開催されました(2ページ参照)。
- 六、研究部講座報告
各講座の代表者より講座の内容、会費等が紹介されました。
現在の研究部講座は、7ページ参照。

七、常任幹事交代について

次の 印の幹事が新しく推薦され、総会で選出、承認されました。

会長	多羅尾千恵 (S43)
副会長	木谷 玲子 (S37)
庶務	桜井 典代 (S43)
厚生	山田 洋子 (S41)
研究	武田 紀子 (S45)
広報	平澤眞理子 (S52)
会計	堀尾 明子 (S55)
書記	大井美智子 (S49)
H P 担当	庵原ちひろ (S50)
大学担当	中陳きよみ (S45)
会計監査	荒木 祐子 (S52)
	松本 友子 (S48)
	渡辺 信子 (S50)
	岩崎えり子 (S53)
	荒木 純子 (S50)
	杉山 真澄 (S44)
	土屋 昌子 (S32)
	大島 治美 (S52)

なお、次の方々が退任されました。
長い間、数専会のためにご尽力くださり、ありがとうございました。

会長	飯山 良子 (S41)
研究	高山千津子 (S41)
庶務	遠藤 陽子 (S45)
広報	岩本 福子 (S45)
会計監査	廣田 貞子 (S24)

八、その他
* 同窓会より

大学創立九〇周年を迎えるにあたり、観劇や旅行(新渡戸稲造先生・安井てつ先生の足跡をたどる旅など)企画するので、ご参加ください。
追分寮再建のための署名を集め、大学への働きかけを一緒にお願います。

* 提案

数専会五〇年誌発行から三〇年以上たった今、発足からの年数としては中途半端ですが、もう一度まとまったものを作ることも考えてもよいのではないかと思います。会誌の発行を提案します。(現在、提案を取り下げています。)

二部 パズルを使って脳のトレーニング

パソコン講座(講師・荒木純子先生)ではエクセルを使ってパズルを作っています。

総会一部の終了後、講座の受講生がデモンストレーションをして、総会に参加した皆さんがパズルを楽しみました。また、脳のトレーニングに使ったパズルのCDを販売しました。興味のある方は、常任幹事までご連絡ください。

文字並べ替え
神経衰弱
4色文字問題
数字当てクイズ
1から100

【お知らせ】

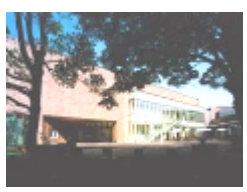
新会長 多羅尾千恵 (S43)
数専会が、初めてパソコンを購入し、名簿の管理を始めました時の初代管理者です。現在は会員数も大幅に増え、庶務の方々のご苦労も、いかにばかりかといつも感謝しています。

夏季研修会では、今年は、百名を超える参加者をお迎えし、秋山先生のお話に耳を傾けました。研究部はじめ幹事(前幹事も)の献身的なお働きのおかげで無事終了いたしました。有難うございました。幹事一同、数専会の為に労を惜しまず働く所存です。皆様のご協力、よろしくお願いたします。

【秋の講演会のご案内】

日時 十一月八日(土)
午後一時半～三時半
場所 東京女子大学二四号館
(安井てつ記念館)二四一〇一教室
会費 1000円
講師 大宇根 弘司氏
大宇根建築設計事務所所長
元日本建築家協会会長

演題 「現・近代建築の魅力と危さ」
お申し込み・お問い合わせ
電話・fax xxxxxxxx
準備の都合上、必ずご連絡ください。



山梨県立美術館新館



中林アトリエ

【夏季研修会】

日時 平成二〇〇八年七月一九日(土)
 於 東京女子大学九号館九一〇二教室
 講演要旨(3ページ)
 夏季研修会の感想を下記に掲載

プログラム

十一時半～十二時
 昼食・懇親会

十四時～十六時
 「数学の中に好奇心を」

東海大学教授
 秋山 仁 氏



秋山 仁 先生

講師紹介

秋山 仁 氏 理学博士

一九四六年東京都生まれ
 上智大学大学院数学科を終了後
 ミシガン大学数学客員研究員、
 東京理科大学教授などを歴任
 現在は、東海大学教育開発研究所長
 「知性の織りなす数学美」他、
 著書多数あり。

【夏季研修会に参加して】

今北 信子(S50)

シンメトリックで美しい、学生時代のままに景観を保ったキャンパスへ、広くなった正門から入り、講堂・チャペル・東校舎・西校舎・睡蓮の池・本館と進み渡り廊下を越え、瑞々しい夏紅葉のトンネルをくぐり、旧体育館前の九号館九一〇二教室で二〇〇八年七月一九日(土)夏季研修会は開催されました。

颯爽と現れた講師の秋山仁先生は、トレードマークのバンドナに、グレーのベイズリー柄のシャツ、凝った織りの浮き出た紺ジャケット姿でいらっしやいました。おしゃれな装いに気がついた現役の学生が、演台に近づき尋ねると、ジャケットの裏地、鮮やかな赤白濃紺のストライプをにこやかにみせていらっしやいました。幼少期のやんちゃでならした武勇伝に始まり、ヒルベルトの第三問題をディーンの解法とは異なる角度から考え、最近のご研究、空間充填立体、平面充填図形の定理までを一気にお話下さいました。ラジオ、テレビ、新聞などマスメディアでも大活躍でいらっしやいますから、研修会には幅広い年代が集まり、皆期待に目を輝かせて静聴いたしました。

自己紹介とご研究のことに続き、現代社会においていかに多くの数学理論が使われているかを楽しく披露されました。次々と矢継ぎ早に語りながら、実際にその場で具象化した機材を使い、目の前で見せてくださるのです。

その一例をご紹介します。楕円を思い浮かべて下さい。楕円の周が鏡張りになっていると考えると焦点Aから光を放つと、どの方向から放たれた光も

鏡に反射して、すべて焦点Bに集まりま
 す。ABを軸としてこの楕円を回転させ
 て得られる回転楕円球でも同じように光
 の反射の性質は成り立ちます。

秋山先生は、鏡面半楕円球を持参され、

風船を焦点Bに置き焦点Aから光の反射
 で割れてしまう実験を身近で二度もみせ
 て下さいました。参加者一同、頭ではよ
 く理解している簡単な理論ですが、大き
 く膨らませた風船が割れる威力をまの当
 たりにし、この理論の示す現象に目を奪
 われました。この理論を応用した医療機

具が、ESWL体外衝撃波結石破砕装置
 だそうです。患者の結石が焦点Bの位置
 にくるようにし、医師が焦点Aから衝撃
 波を発射させると、結石は砕け、体外に
 自然排出されるのです。数学理論が医療
 分野に応用されることで、激痛を伴う腎
 臓結石や尿路結石を開腹手術せずに治療
 する医療の進歩が可能になったとのこと。



人類が対処すべき課
 題を数学理論が解決し
 てきました。すなわち
 現代文明のほとんどの
 ことを支え作った功を
 うかがい、社会に果た
 してきた数学理論の役
 割に心から感動いたし
 ました。

最後に秋山先生は、数学も鑑賞するだ
 けでなく御自身でも定理を是非作ってほ
 しいと言われ、クリエイティブな活動が
 いかに素晴らしいかを説かれました。お
 気に入りの詩を引用され、理想を失うと
 老いがくるとおっしゃいました。私もせ
 わしない日常生活に埋没している自分を
 振り返り、時間を作り出して諸々のこと
 に対し、柔軟に新たな気持ちで取り組ん

でいかなばならないと思いました。

数学を熱く語る御様子が印象的でした
 が、それだけではなく若者にだけ将来の
 夢を託すのではなく、子供にも大人にも
 皆に数学の楽しさを伝え、興味を持って
 取り組んで貰いたいこと、創造力を育て
 それぞれが工夫してほしいと願っている
 ことが伝わって参りました。



講演を待つ楽しい時間

研修会が閉会となりお世話になりました
 た根岸先生、高村先生が御車に乗られる
 時、ベンチで一服されていた秋山仁先生
 は、わざわざ追いかけてみえ、お見送り
 下さっていました。年長者を大切になさ
 る御姿に名は体を顕すと感じ入りました。
 本年も数専会役員の方々の御努力と御
 配慮そして御手配等、大きなお働きでこ
 のように有意義な時を、昔ながらの佇ま
 いの母校で過ごすことができ、深く感謝
 申し上げます。先輩、同期、後輩の皆様
 と一同に会せましたのも嬉しく有難く存
 じました。厚く御礼申し上げます。

【編集部より】 秋山先生はNHK教育
 テレビで数学の楽しさを教えてくださる
 ほか、毎週火曜日にサンケイ新聞にコラ
 ムを載せていらっしやいます。

結ばれず別れた初恋の人



(秋山 仁 先生 ご寄稿による講演要旨)

東女の構内に入ったのは今日が初めてですが、中学校が西荻の神明中学校だった関係でこの近辺は子どもの頃から私の生息域でした。東女の隣に友人の家があり、しょっちゅうそこで相撲をとったり、缶蹴りをしたり、善福寺池で魚を捕ったり、セミ捕りをして夜遅くまで遊び呆けていました。

実は、今まで誰にも明かしたことがないのですが、東女は私にとって“結ばれず別れた初恋の人”の母校なのです。というのは、あれは確か、中1の時、英語の教育実習生が東女から神明中にやってきて、授業をしたのです。彼女の清純さと胸の大きさにすっかり一目惚れして、私の視線は Brouwer の不動点定理に従って、胸元に釘づけ。当然、授業は上の空。彼女となんとか話をし、お近づきになりたいと幼な心に考え、思案の果て、くだらん質問をでっち上げ、「先生、その胸につけている風車は何ですか？」と、聞いてしまった。先生はニッコリ微笑み、「これは東女のバッチで Service & Sacrifice を意味しているのよ」と、優しく教えてくれた。Sacrifice は理解不能だったが、Service を“値引き”と勝手に解釈し、しばらくの間、東女は授業料の格安な大学と勘違いしていた。その当時から英語は苦手だったのですが数学は大好きでした。この傾向は今でも全く変わりません。

ところで、私が普段、心がけて探している定理は、大雑把に述べると次のような条件を満たすものです：

- 1、誰にでも定理の意味することが理解できるが、実は奥深い。
- 2、定理を具体的なもの(模型、作品、CGなど)で表現し、それを見たり、触ったりすることで、定理の本質を体感できる。
- 3、テーマは日常生活や自然の中にある不思議や疑問に端を発している。
- 4、証明には直観や発想、数学的マチュアリティが必要だが、高度な知識やテクニックを要しない。
- 5、多分野への応用が豊富である。

上述の条件を満たす結果ならば、一般の人々にも容易に数学の美しさや醍醐味、有用性を理解してもらうことができます。すなわち、数学で人々に感動を与えることができるのです。私は数学で人々に幸せを運ぶ人になりたいのです。

今日は、東女の数学科の同窓会なので、精一杯この“秋山流数学”の醍醐味を紹介させていただくつもりです。

さて、実際に講演で披露した定理の中から紙面のスペースの関係で2つだけ選んで記述しましょう。まずは、“正四面体タイル定理”です。すなわち、「正四面体の任意の展開図は平面充填図形である」という定理です。この定理を折り紙で作った四面体を切って実演しました。この定理から、M.C.エッシャーの版画のデザインのアイデアを、ある程度説明することができます。

次は定幅図形の応用です。マンホールのフタが丸いのは、「円が定幅図形なのでフタが下に落ちない」という特性に起因しています。ルーローの三角形(おにぎり型)も定幅図形なので、円とおにぎり型は“似た者同士”です。そこで、円の代わりにおにぎり型を代用することにより、数多くの新しい発明が生まれました。正多角形の形の穴があく回転ドリル、おにぎり型の車輪、ロータリーエンジン、人工心臓などはその例です。

さて、もう紙面が一杯になってしまいました。東女で数学を専攻された皆様が、ここで学んだことを生活に活かし、合理的で豊かで、楽しい日々をこれからもお過ごしになられることを祈ります。

最敬礼

追伸：知性によって裏打ちされた美を放ち続ける根岸愛子先生、高村多賀子先生、とてもすてきでした。どうぞお元気で。

くるくるキューブのできるまで

高林 厚子(S36)

お子さんと大根やじゃがいもを四角に切り取りいろいろな切り口を作った経験があると思います。私も昔、やりました。まず、サイコロの形に切るところが意外と難しくあの面、この面とカットしていくうちに小さくなって失敗。2個目、次に進んで、サイコロが出来ても思うような切り口になりません。3個、4個とその日は具沢山のお味噌汁を作った覚えがあります。

ひよんな事から同窓会の紹介で公立中学校の数学を教える事になりました。1年生は正負の数・方程式・比例反比例・平面図形・空間図形と進み立方体の切り口は三学期の後半になります。授業が遅れたり、(そう言うときに限って)学級閉鎖と重なったりして、小さな木製の模型を見せるだけで終わってしまうこともありました。最近プラスチック製で立方体の透明な容器に切り口の形をした色板を入れると切った状態が見える仕組みのこともあります。**ゆとり教育**により切り口のところは教育課程から外され、こんな優れものもこの数年、棚の奥の方に追いやられています。

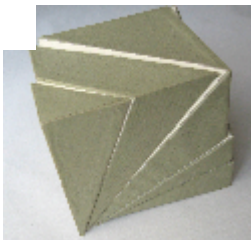
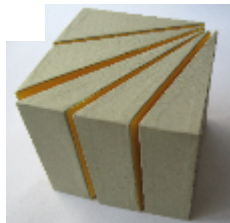
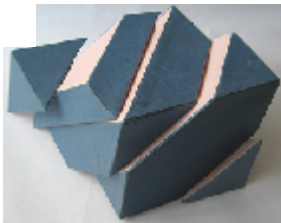
もっと大きなオリジナルキューブを班に1つずつ、見て・触って・考えようとカラフルで、パズル的で、計算嫌いな子も楽しんでくれたらということでしたが、作って楽しんでいたのは私でした。1つの立方体を5~6個にカットしました。

平行な面でカット

1つの辺を中心に回転する面でカット

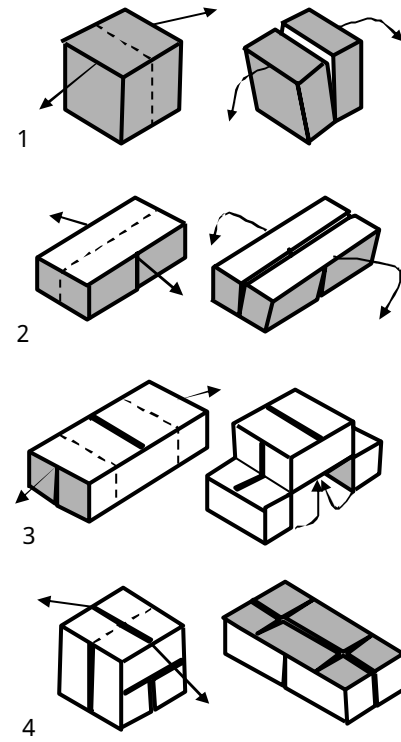
1つの頂点を中心に回転する面でカット

2・3・6・9等分するようにカット



あるとき、旅行先でキューブのおみやげ品を見つけました。2~3cm角程の小さな木製の立方体8個がつながっていて、半分ずつ切り開くようにしていくと、今まで内側にあった絵が外側に出てくるなんとも不思議なおもちゃ。

図のように立方体の底面の1面は切らずに、波線部分を半分に切っていくと3回目で外側の面が全て、内側に入ります。



何とか紙で作れないかと試行錯誤を繰り返して、たどり着いたのが**くるくるキューブ**でした。

①工作用紙で8個の立方体を作っていました。

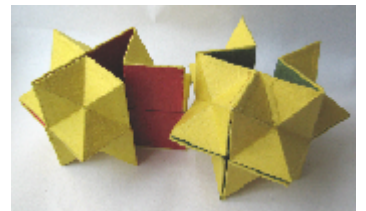
②牛乳パックを7cm幅に2つカットし、はめ込めば丈夫で正確なキューブが簡単にできました。

③折りたたみ式にしたら、持ち運びに便利になりました。

④8個のパーツにして、パズル形式にしました。

この④を昨年の講演会で楽しんでいただきました。

また、くるくるキューブの2等分にも挑戦し、4種類作りましたが、これもおもしろい形がいくつも出来そうです。



今、荒木純子先生をはじめ、プラムパソコン教室の方々に協力していただき、手描きしていた図も Word で描く事を始めました。

くるくるキューブの次はくるくるテトラ(立体)、おやおやヘキサ、おやおやスクエア(平面)と続きます。先が遠くいつ出来上がるか分かりませんが、その過程を楽しんでいる今日この頃です。

平成19年度 活動報告

月 日	委員会	活 動 内 容
平成19年	4月12日(木)	常任幹事会 平成19年度決算、平成20年度予算案を検討し幹事会にて承認 園遊会の役割分担、夏季研修会の検討、総会のお知らせの発送
	4月28日(土)	園 遊 会 数専会コーナーにてバザー出店
	5月 9日(水)	常任幹事会 幹事役職交代の検討、総会の進行 および 役割分担の検討
	6月 9日(土)	数専会総会 級幹事会、総会議事、熊谷正子氏の琴演奏(バイオリンとの共演) バザー、勉強会への補助金配布、総会反省会
	7月11日(水)	常任幹事会 総会の反省 および 来年度の総会議事の後の第二部について検討 同窓会総会報告 夏季研修会の準備(懇親会の内容および役割分担の確認等) 数専会だよりの原稿について検討
	7月21日(土)	夏季研修会 会場：東京女子大学 安井てつ記念ホール(24号館) 講演：内村直之氏『ニッポン数学するヒトビト 私の見た数学者たち』 廣瀬 肇氏『男の声・女の声』 懇親会: 大学学生食堂2階
	9月 7日(金)	常任幹事会 夏季研修会の反省、「数専会だより」の初版校正 および 秋の講演会の検討
	10月 4日(木)	常任幹事会 秋の講演会の準備会(牛乳パックの裁断等)
	10月12日(金)	常任幹事会 秋の講演会の進行確認 数専会だよりの発送(常任委員 および 級幹事による)
	11月17日(土)	常任幹事会 平成20年度夏季研修会講演について 桃井第4小学校のボランティアについて
	11月17日(土)	講 演 会 会場: 72年館 講演: 高林厚子氏(S36)『牛乳パックで作るくるくるキューブパズル』
	12月 6日(木)	
平成20年	1月31日(木)	常任幹事会 数専会誌作成・夏季研修会秋山仁氏講演の企画について検討 総会第二部の担当について検討
	3月 6日(木)	常任幹事会 平成20年度総会級幹事会について および 総会のお知らせの原稿検討 2008年度予算案 および 園遊会について検討、研究部のお知らせの発送
	3月14日(金)	
研究部	4、5月	各勉強会へ前年度会計報告・今年度名簿作成依頼、園遊会で夏季研修会パンフレット配布
	6、7月	夏季研修会勧誘、講師原稿依頼、参加者名簿作成、参加者へ確認のはがき発送、資料作成
	8、9月	「数専会だより」の原稿提出、夏季研修会参加者への会計報告・写真発送
	12、1、2月	「数専会研究部のお知らせ」の原稿収集、印刷発注、発送
	3月	夏季研修会準備(講師依頼、会場確保、宣伝用パンフレット作成)
庶務部	通 年	会員名簿管理、維持運営費納入管理、宛名シール印刷 「数専会だより」用の封筒印刷、常任幹事会の通知メール配信
	4月	「数専会だより」に同封する維持運営費の振込表の作成
広報部	4月	「数専会総会のお知らせ」原稿作成、印刷発注、発送
	7、8月	「数専会だより」原稿依頼、原稿作成、原稿校正
	9、10月	「数専会だより」印刷発注、発送
厚生部	通 年	求人情報をHPで紹介。求職者には詳しい内容を紹介。 平成19年度求人62件(内訳 教員40件、非常勤講師10件、その他12件) 成立0件
バザー	園遊会および 総会バザー	死蔵品、中古衣料、会員制作の手芸品などを販売

平成19(2007)年度 決算報告

(1) 一般会計

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
繰越金			
維持運営費 (582名)		郵送通信費	
新入会費 (46名)		印刷費	
バザー		名簿管理費	
預貯金利息		講座補助費	
雑収入 (寄付等)		パソコン関係費	
		総会費	
		会議費	
		運営費	
		バザー	
		雑費	
		予備費	
合計		合計	
		繰越金	

(2) 基金

収入の部		支出の部	
繰越金			
主催講演会会費		主催講演会	
寄付		パソコン関係費	
合計		合計	
		繰越金	

(3) 数専会保有財産合計

収入の部		支出の部	
(一般会計) + (基金)		(一般会計) + (基金)	
		繰越金	

平成20(2008)年度 予算

(1) 一般会計

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
繰越金			
維持運営費 (300名)		郵送通信費	
新入会費 (卒業見込み数 88名)		印刷費	
バザー		名簿管理費	
利息		講座補助費	
		パソコン関係費	
		総会費	
		会議費	
		運営費	
		バザー	
		雑費	
		予備費	
合計		合計	
		繰越金	

(2) 基金

収入の部		支出の部	
繰越金			
主催講演会会費		主催講演会	
		パソコン関係費	
合計		合計	
		繰越金	

(3) 数専会保有財産合計

収入の部		支出の部	
(一般会計) + (基金)		(一般会計) + (基金)	
		繰越金	

【会計・会計監査より】
平成一九年度の決算を6ページのとおり報告いたします。

会長 飯山 良子
会計 松本 友子
渡辺 信子

精査の結果、相違ないことを認めます。

平成二〇年五月二三日

会計監査 廣田 真子
土屋 昌子

【会計より】

平成二十年度の予算が総会にて6ページのとおり承認されました。

今年度も、基金を利用して秋に数専会主催の講演会を開催します。その他、基金の有効な利用法があります。また、提案下さい。常任幹事会にて検討のうえ、総会で決意を決定します。

維持運営費の振り込み用紙が同封されている方はお納め下さい。なお、お込み手数料は自己負担でお願いします。

【庶務(住所管理)より】

転送された手紙を受け取られたら、新住所を「連絡下さい」転送期間は一年です。

改姓、名簿変更などは数専会HP、はがきなどで必ずお知らせ下さい。

クラス会開催等で名簿が必要な時は、「ご連絡下さい」。

【研究部より】

今年の夏季研修会は、例年と異なり懇親会と午後の講演会の一部形式となりました。

秋山仁先生の講演会には、在校生も含め

百人以上の方が参加してくださいました。途中先生のアコーディオン演奏という思いがけないプレゼントもあり、充実した講演会になりました。

今後の研修会について、「意見」ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

現在数専会では、自主ゼミを含め十一の勉強会が活動していますので、ご紹介いたします。

勉強会

高村多賀子先生ゼミ

杉山真澄先生ゼミ

高校数学勉強会

茶園幸子先生ゼミ

吉田萌子先生ゼミ

吉祥寺ゼミ

パソコン教室

MYパソコン教室

プラムパソコン教室

チェリーパソコン教室

シニアパソコン教室

パズル研究会

自主ゼミ

石田静子先生ゼミ

詳しくは、春にお送りした「数専会研究部のお知らせ」をご覧ください。

【厚生部より】

平成十九年度の求人と実績(5ページ参照)数専会ホームページの厚生部求人情報をご利用下さい。随時更新しております。

求職希望者は、「連絡下さい」

〒xxxxxx xxxxx xxxxx

平澤 眞理子(55)

【大学担当より】

文理学部から現代教養学部へ

二〇〇九年四月から文理学部・現代文化学部(二学部)十学科を統合・再編して、専門性をもつ教養人の育成を目標とし、「現代教養学部」一学部四学科十二専攻に変わります。

四学科と十二専攻とは、**人文学科**、**哲学専攻**、**日本文学専攻**、**英語文学文化専攻**、**史学専攻**、**国際社会科学科**(国際関係専攻、経済学専攻、社会学専攻)、**人間科学科**(心理学専攻、コミュニケーション専攻、言語科学専攻)、**数理科学科**(数学専攻、情報理学専攻)です。

数理科学科から数理科学科へ

数理科学科では、科学技術が急速な発展を見せ、高度情報化が進む今日の社会の要請に応えるために二つの専攻を置き、「数学、情報学、自然科学の専門知識を学び、幅広いニーズに応える人材の育成を目指します」。

数学専攻では現代的な純粋数学(代数学、解析学、幾何学)と応用数学(計測情報学、幾何学)と応用数学について

情報学専攻では、現実の自然現象や社会現象に対して数理モデルを構築しコンピュータによるシミュレーションを行うなど情報学と自然科学を連携させた理論と方法を学べます。

キャンパスの姿

キャンパスも二〇〇七年度に新部室、集中管理センター、二〇〇八年度に図書館のリニューアル、二〇〇九年度に新体育館棟や新研究室棟の建設整備をしています。

【大学からのパンフレットからの抜粋】

そのために由緒ある建物東寮などやいろいろな草木がなくなってしまうました。

【HP担当より】

HPは勉強会のお知らせ、会員の交流住所変更の連絡等に使われています。クラス会を開催した場合、本など出版した場合など、情報をお寄せ下さい。

数専会HPは「東京女子大学数専会」で検索するが、下のURLを入力すると閲覧することができます。

【常任幹事より】

東京女子大学追分寮 その後
再建を願うの署名有難うございます。



平成20年度 常任幹事

六月二日の同窓会総会において、湊学長より、「再建の検討へ向け、現地を視察」の朗報！
進展を祈りつつ、募金の心づもりなど、よろしくお願ひいたします。

【同窓会 パソコン講座準備委員より】 パワーポイントを6本購入しました。

八月に、戸塚三重子先生(S41)がパワーポイントの講習をしてくださいました。七月に、パソコンのメンテナンスを行いました。プリンタの切替器を購入しました。

【訃告】 東京女子大学名誉教授・黒星瑩一先生が八月一六日に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

【ゼミ紹介】 プラムパソコン教室

上武 洋子(S50)

プラムパソコン教室は、木曜日(第一、第三)の午前十時から十二時に勉強会を開いています。プラムは勉強会が始まってもう十一年になります。私は途中から入ったので十年ほどになります。

先生は荒木純子先生です。じつは先生と私は大学の時から友人でした。お互い結婚してしばらくお会いしていなかったので暫くぶりであつた時は先生と生徒でした。会わなかつた間に、先生はパソコンのプロになっていらつしやいました。

はじめてパソコンを習つた時は本当に楽しく時間があつたという間たつてしまった事を覚えています。先生はほんとうにやさしく教えて下さいました、それに甘えて私は家で復習をせんせんしなかつたのでいまでも簡単な事を先生に聞く事があります。それでもいやな顔をせずに教えて下さいます。

数専会だよりを書く事になり、今までのプリントを読み返してみました。本当にたくさんのお話を勉強してきました。パソコンの字も解らない時から、ワードで文章を書く練習し、ペイントで絵を書いて、一筆箋やうちわ、ブックカバーなどを作りました。エクセルは組込み関数などを使うので、少し数学的に楽しかったです。あとフォトショップで写真の編集をしたり、ホームページを作ったり。またメールに自分で作った雛形を付けたりしました。大量のデータを整理するデータベースの勉強もしました。本当にたくさんのお話を教えていただきました。勉強会の時は一生涯懸命なのですが、家で復習をしなかつた事をいま悔やんでいます。パソコンの事で分からない

事を先生に質問すると、ほとんどのことはすぐに教えて下さいます。分からない時は次の勉強会までに調べてきて下さいませ。本当に心強い先生です。

生徒さんもみなさんいろいろな個性があり、優秀な方が多く今まで習つたことを利用して、自分で撮つた写真をCDに入れて表に中身がわかる様に写真をプリントしたり、ホームページを作り情報を発信したり、エッセイを書いて小冊子を作られたり、使い易い家計簿を作つたり、私以外の方はほんとうにすばらしく進歩しています。パソコンを使って何をしたいのか目的がある人は進歩が早いと思ひました。

今は新しく入られた高林さん(昨年秋季の『牛乳パックで作るくるくるキューパスル』の講師)が先生をしていた時のいろいろな資料を本にまとめるお手伝いをしていきます。高林さんの資料(4ページ参照)がすばらしいので、いままで勉強してきた事を使ってどのようにまとめたら他の方に分かり易いか、みんなで意見を出し合いながら楽しく進めています。本になる日が今から楽しみです。

荒木先生は本当に、分かり易く色々な事を教えて下さいますし、生徒のみなさんもとても気さくで楽しい教室です、よろしかったら一度見学にいらつしやいませんか? お待ちしています。

【支部だより】 湘南の地に暮らして

増田 純子(S43)

湘南の地、平塚に私が初めて移り住んだのは一九七四年の八月のことです。家庭に入つて三年目の夏でした。しかし、住み始めてまもなく夫の仕事の関係で、平塚を拠点に、東京、地方と行つたり来たりしながら度々転居を繰り返し、最後に、十年東京

におりました後、二〇〇一年秋にやつと平塚に腰を落ち着けることが出来ました。

このような事情で支部の活動にはすつかりご無沙汰しておりますが、この度、幹事の方から「支部のことに拘らず神奈川の素晴らしいところをご紹介下さい」との原稿執筆の依頼を受け、筆の向くまま書かせていただくことに致しました。



瑞 泉 寺

最初に少し支部のことに触れさせていだたくと、平塚に戻りまして一年半ほど経つた二〇〇三年に、私の手元に九〇頁の立派な「さがみの会 五五年史」が送られてきました。それに詳しく「さがみの会」の歴史と先輩方の活動の足跡が書かれておりました。それによりまして、一九四八年同窓会「湘南支部」は鎌倉の地で発足し、一九五一年に名前が「さがみの会」となりました。一九八二年「さがみの会」は「鎌倉支部」「中部支部」そして「小田原支部」の三つになり、私の住む平塚は中部支部に属し三つの「もより会」(藤沢、茅ヶ崎、平塚・大磯)に分かれて活動がなされております。

「年史」により、心を通い合わせての様々な活動の様子を知ることが出来、先輩の方々が湘南の地で築いた歴史は脈々と受け継がれていることを感じました。

平塚に落ち着きました今、海の潮風が頬を伝う温暖な湘南の地に住める幸せを噛み

締めております。歴史的にも鎌倉幕府の開幕、小田原北条氏の豪勢、明治期後の横浜の大発展など、近場で歴史を訪ねる場所は無数にあります。娘たちも社会人となり自分の時間を持つようになった私は、五年前より月一回(年に十回)鎌倉散策や神奈川歴史散策の機会を得て様々な場所を歩いております。鎌倉のお寺や神社だけでも百箇所近く訪れたでしょうか。感慨深いものがあります。特に印象に残つた鎌倉のお寺について、少し触れてみたいと思ひます。限られた紙面ですので、鎌倉五山 建長寺、円覚寺、寿福寺、浄智寺、浄妙寺 以外で、

一階堂にある鎌倉最古の寺である**杉本寺**の苔むすお寺の静寂な佇まいは、まるで鎌倉時代にタイムスリップしたかのようです。夢窓疎石が開山の**瑞泉寺**は、庭の素晴らしさと共に四季折々の花も楽しめ、周囲の山々を背景にした秋の紅葉の美しさは心に染み入ります。長谷寺近くの**光則寺**は樹齢約二百年といわれるカイドウの古木で有名ですが、季節ごとに咲く花々は、寺を囲む緑の美しさと共に訪れる人の心を和ませてくれます。

極楽寺は毎年四月七、八、九の三日間秘仏の本尊が特別公開されます。木造清涼寺式釈迦如来立像は、鎌倉時代の作で国の重要文化財です。庭内ではお茶席も用意されており、何度でも訪れてみたいお寺ばかりです。これからも神奈川の歴史散策をずっと続けていきたいと思つております。

【編集後記】

数専会だより、お楽しみいただけましたか?

会員の皆さまの素敵な活動の一端を少しでもご紹介できましたら幸いです。さらに多くの参加・投稿をお待ちしています。数専会へのご質問・ご連絡は、1ページをご覧ください。